

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	多機能型事業所ホープみさかえ		公表日	令和 7年 2月 28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容、人数や状況により利用場所を変えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・他部署と協力しあっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・設備は十分ではないが、特性に合わせた遊具利用を心がけています。	・バリアフリー化はできているが、個々の特性に応じた配慮は不十分ですので、危険のないように常に気を配ること。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・整理・整頓・清潔に気を配り、清掃・消毒を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・施設状況から個々の部屋の確保は出来ませんがこどもの状況に応じて場所移動もします。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・目標設定はしているものの、振り返りの時間が十分でない。記録を取るなかで反省点等については情報共有を図るようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表に限らず、送迎時等保護者との会話の中から情報収集を心がけています。	・得た情報は共有化を図り、マイナス面は改善に努力する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	・会議だけではなく、アンケートによる意見収集もしています。	・お互いの意見を尊重し、改善につなげお互いスキルアップを図ること。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価は出来ていないので、保護者の話し、メディアやネット情報等参考になることは取り入れるようにしています。	・得た情報は共有化を図り、改善へつなげるようにしています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			・できるだけ受講の機会を増やすため、短時間受講の複数回受講で一課題を完結するようなパソコンツールの利用も考えたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・基本的プログラムはホームページ上に掲載することとしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・こどもの特性や保護者の意向等をしっかりと確認、聞き取りをして、作成しています。	・再利用児については、結果や反省点も踏まえ作成することとしています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・事前に他の職員とも意見交換して作成に臨んでいます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・共有し、支援にバラツキがないように心掛けています。	・齟齬があった場合は、しっかりと職員間の調整を図ること。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・アセスメントツールの利用は十分ではないことから、種類・効果等の検討も必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子どもの特性や保護者の意向、他職員の意見等も踏まえ、十分な検討の上設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			・意見交換しながら作成することとしています。十分な時間が取れていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ネット情報なども参考に、各自がアイデアを出し合い、新しい活動を取り入れるようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの得て・不得手も加味しながら、個別活動・集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・打ち合わせの時間が十分に取れない場合、それぞれが紙ベースでの確認を行っています。	・できるだけ事前打ち合わせに取り組むこと。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・終了後の時間は十分に取れないので、合間合間で共有化を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録を取る中で、反省点も浮かんでくるので意見交換をしています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・こどもの変化や保護者の意向変化を聞き取り、また職員の意見交換により見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・それぞれの状況に合わせて、できるだけ適切な組み合わせを考えています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・こども達自らやることを促しながら、自己決定を念頭に支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者自らが出席をして、情報収集に努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・障害福祉、保育、教育機関との連携はあるものの、保険・医療との連携が不十分
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・情報共有に努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・担当者会議等で情報共有、相互理解に取り組んでいます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・情報提供し、よりよいサービスが受けられるように心がけています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		・研修の機会があれば受講させてもらっていますが、更に助言を受けられるような体制作りを目指します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・コロナ禍以降、他施設との交流が取れていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援管理責任者自らが出席をして、情報収集に努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時等にコミュニケーションを図り、共通理解が持てるように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・家族相談は受けて対応しているものの、今年度はペアレント・トレーニングは実施できなかった。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・事前にこどもの状況把握や保護者の聞き取り、確認を十分に行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・説明と同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・懇切、丁寧な対応を心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・コロナ禍以来、保護者参加型の行事等もできず交流の場が持てていない。今後、保護者参加型の行事等を行い、交流が図れるようにしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・丁寧かつ誠意をもって対応することとしています。	・迅速かつ適切に対処に務めます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・ライン活用により成果を上げています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・子どもさんの状況に応じて、絵カード、写真、文字盤などの使用やジェスチャーを交えたり意思疎通に努めています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ禍以来取り組めていません。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・マニュアルはあるが、見直しをして現状に即したものを作成して、改めて周知することとします。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・作成して火災、自然災害を想定して避難訓練を行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・確認して薬を預かることもあります。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・しっかりと確認しています。現在はアレルギー対象児はいない。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的に安全点検を実施し、万全を期しています。	・安全に関する指針やマニュアル等、全般を見直しをします。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・上記の見直し作成したものを配布し、周知します。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・職員に周知するとともに検討し確認することとしています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年2回の部内研修を行うとともに、外部研修の受講や日常に注意喚起を行っています。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・都度、身体拘束適正化委員会を開催し、対応するとともに、保護者には説明・同意を得ています。		